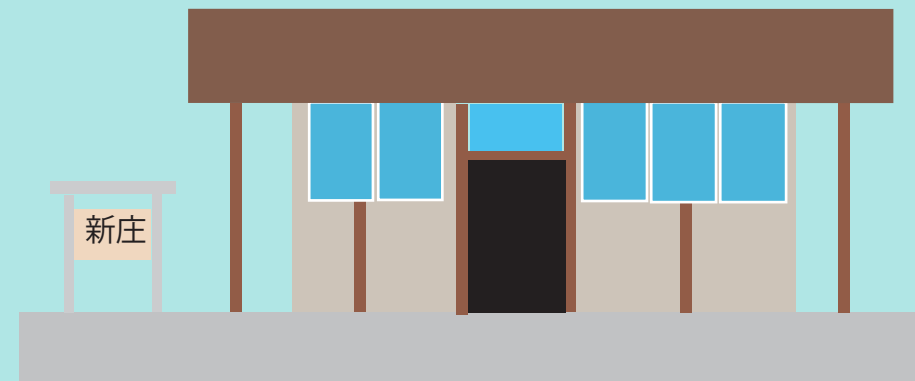
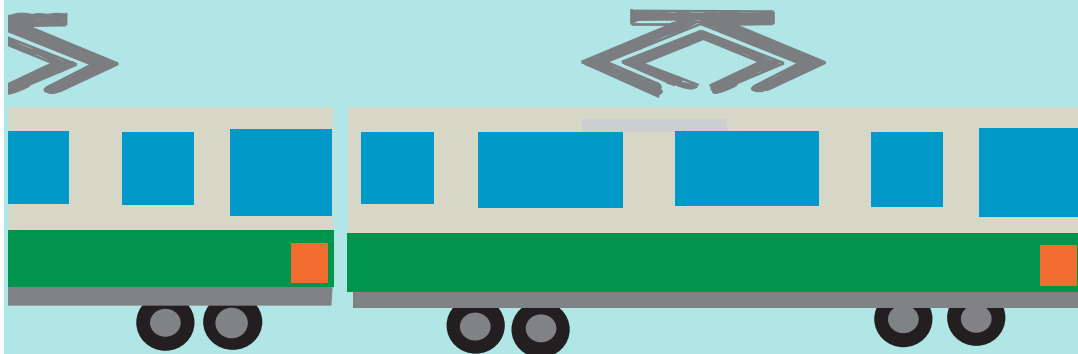


# ステーションカード

## concept

これまでコロナ禍のため、外を出歩くことが制限されてきました。このことにより、私たちの身近にある鉄道や駅も利用者が少なくなり、利益が減少しています。また各業種・各分野に大きな影響を与えています。そのうえ、利用状況がコロナ前のように戻らないと想定しているようです。

そこで、電車の利用客を増やすために、駅や路線に付加価値を付け加え、観光客の増加を図って、地域の活性化に繋げる方法を考えました。



## そこで、私たちは、電車に乗る目的として、「ステーションカード」を作ろうと考えました

「ステーションカード」を作ることにより、カードを集めるために電車を利用する客が増えるだけでなく、駅やその周辺の施設や観光地について知ることができます。ほかに同じような特徴を持つカードとして有名なもので、「ダムカード」や「マンホールカード」などが存在します。

### カードの例

表面



裏面

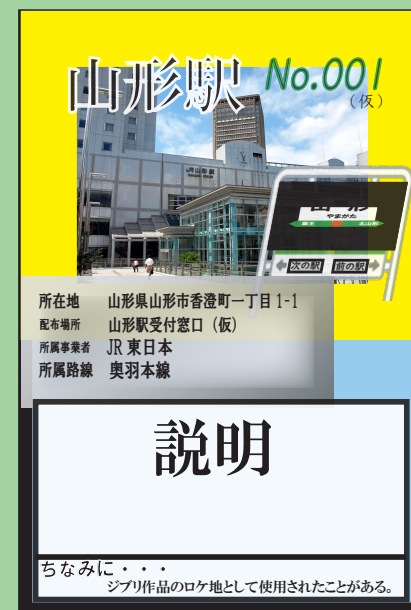


### 「ステーションカード」アプリ

アプリ画面の例

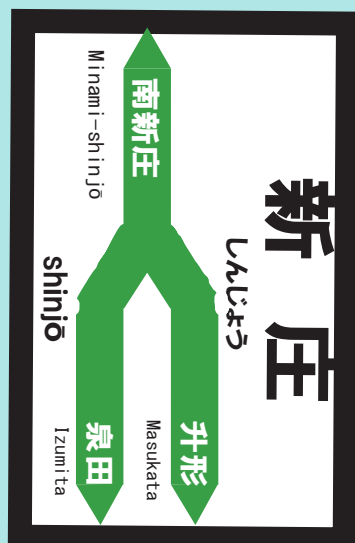
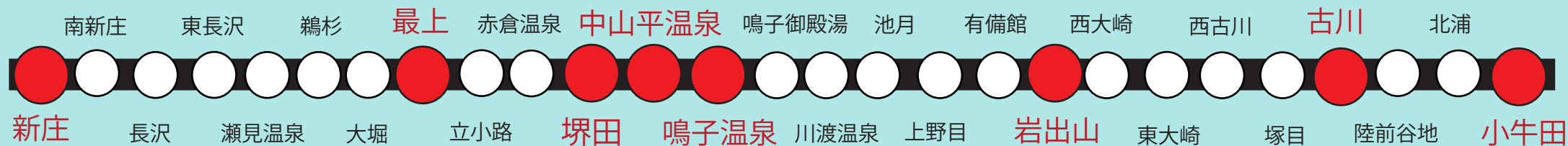


説明画面の例



カードの表面は駅名標がデザインされており、裏面には駅の写真と、駅やその周辺施設の説明、スマートフォンのアプリで使えるQRコードが表記されています。QRコードを読み込むことで、カードに記載されたものよりも詳細な情報を閲覧することができます。また、QRコードを読み取った後、カードを登録することでポイントが溜まり、鉄道で利用できる電子マネーに換算することができます。

# 山形陸羽東線を例にあげると ※赤文字の駅にステーションカードがあります。



- ・ 陸羽東線のステーションカードを集めるには、出発点である主要ターミナルの新庄駅か小牛田駅から出発します。駅員がいる駅では直接駅員からカードをもらえます。
- ・ 無人駅のカードは最寄りの観光名所や飲食店で整理券を提示するともらえます。配布場所はガイドブックに掲載されています。
- ・ ステーションカードを知ってもらうために
  1. 鉄道マニアに SNS で拡散してもらう
  2. 電車内の中吊り広告で広めてもらう
  3. コンビニの雑誌コーナーでガイドブックを置いてもらう

# 「秘境カード」

## 秘境カードの例



秘境駅とは「鉄道路線と集落までの間に距離がある」などの理由で、ほとんど人がいない地帯に存在する駅です。これらの駅に行けば、秘境カードとよばれる通常のカードより珍しいカードを獲得することができます。

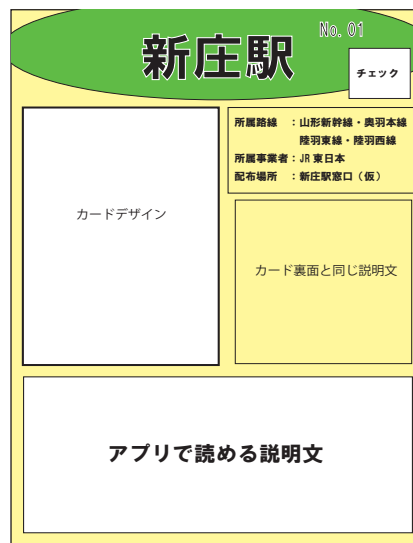
# 「限定レアカード」

## レアカードの例



一つの路線ですべてのカードを獲得することで、地域の人とコラボして制作した限定レアカードをもらうことができます。陸羽東線ならカード8枚をコンプリートすることでもらえます。制作する駅は季節ごとによります。今回は、第一弾として鳴子温泉を作りました。

# 「山形ステーションカード ガイドブック」

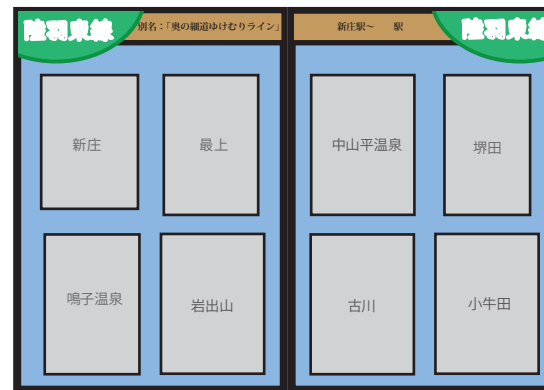


「ステーションカード」のガイドブックは県内の書店やコンビニで購入できます。

その県のすべてのカードを網羅しており、自分が持っていないカードのデザインをチェックしたり、配布場所も確認できます。

付録としてカードホルダーが付属します。

## カードホルダー (付録)



1ページにつき4枚ずつ収納ができます。ページは路線ごとに分かれていますので、収集をより楽しめます。特典で入手したレアカードを収納するページが別で存在します。

全国展開され、カードも増えていけば、ガイドブックや付録のカードホルダーも増えていき、それらを集める楽しみを見出すことができます。

## イベントDAY

一か月に一回、イベント DAY を開催します。

⇒イベントの詳細はアプリで知る事ができます。その日は数量限定でフリーパスを購入する事ができ、電車に乗り放題になります。しかも、電車の本数がいつもの倍になるのでカードが格段に集めやすくなっています。

## Go Toトラベル x ステーションカード

ステーションカードとそれに加盟した駅周辺の宿泊施設がコラボします。

⇒地方のローカル線をめぐる旅やステーションカードが付いたツアーを開催します。  
参加者限定の記念カードを配布します。  
宿泊施設内ではコラボした駅や電車を紹介したものを展示します。

## Go Toイート x ステーションカード

ステーションカードとそれに加盟した駅の地方の飲食店がコラボします。

⇒電車に乗って来た人限定で整理券を提示した人に記念カードを配布します。飲食店には電車や駅に関する料理を期間限定で追加してもらいます。

## まとめ

ステーションカードを制作することによって外出する人が増え、それに乗じて電車を利用する人が増えるでしょう。そして、カードを集めるため、ローカル線の利用客が増えたら、地方に来る観光客も増え、地方の産業も徐々に潤っていくでしょう。

また、カードを通じて地域の情報を知り、さらにその地域の人と触れ合う事で、少しでも興味をもってもらえたら嬉しいです。

ステーションカードを広め、全国展開を目指したいと思います。